

科目名	現代経済入門	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学部	■必修	□選択
			学部	□必修	□選択
英文表記	Introduction to Contemporary Economics	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	もりもと あつし	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	森本 敦志	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	現代の経済・社会課題を多角的に学び、理論と実践を結びつけた解決策を提案できる力を養います。。				
到達目標	現代の経済と社会を巡る主要課題を多角的に理解し、それらの背景や相互関係を論理的に整理・評価できる力を身につけるとともに、実践的な対応策を提案できる基盤を築くことが到達目標です。				
授業概要	本授業では、現代経済における主要な課題とその解決に向けた政策について幅広く探求します。物価や金融政策、働き方改革、所得格差、少子化対策など、社会経済における重要なテーマを取り上げ、それぞれが抱える問題とともに、今後の展望や解決方法を考察します。各回の授業は、現代の経済状況に合わせた具体的な事例と政策の議論を通じて、現実的な経済問題の理解を深め、現代社会における政策課題に対する知識と視野を提供することを目指します。				
授業計画					
第1回	物価動向と金融政策のあり方				
第2回	変化する雇用環境：労働市場の現状と展望				
第3回	多様化する働き方と雇用制度の課題				
第4回	現代の財政政策：役割と挑戦				
第5回	公共財政と政策デザインの新潮流				
第6回	拡大する所得格差と貧困問題の実態				
第7回	格差是正に向けた政策アプローチ				
第8回	社会保障制度の仕組みと改革への道				
第9回	国内投資戦略と国際競争力強化				
第10回	気候変動とエネルギー問題：持続可能性への挑戦				
第11回	少子化対策と未来への展望				
第12回	労働市場改革：働き方と雇用構造の再設計				
第13回	財政健全化に向けた戦略と課題				
第14回	教育改革：未来を創る人材育成とは				
第15回	総括：日本経済と社会の行方を見据えて				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	● 前回の復習(1 時間程度)をしてから、次回の授業に備えてください。 ● 授業前に教科書の該当箇所に必ず目を通してください。分からない用語は、聞き逃さないようにノートにまとめておいてください。(1 時間程度)				
履修条件 受講のルール	・教科書は必ず購入してください。 ・必要がある場合はポータルサイトから資料を配布します。				
テキスト	宮本弘暁『私たちの日本経済』(2024 年) 有斐閣				
参考文献・資料					
成績評価の方法	試験 60%、授業中に与える課題等 40%としますが総合的に判断します。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・課題は必ず提出することが前提で、授業内又は掲示板（ポータルサイト含む）で指示します。				

	※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	毎週 金曜日 9:00～10:30
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	この授業では、物価動向、金融政策、労働市場、社会保障、環境、少子化など、経済の視点から現代の主要課題に取り組みます。得た知識を日常に活かし、現実を捉える力に変えてほしいと願っています。各自が学んだ知識を自らの判断で活用し、経済の現実を見極める目を養ってほしいです。皆さんの成長を心から応援します。